

令和4年度 第1回 三方原中学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年4月21日(木)14時から15時30分まで
- 2 開催場所 三方原中学校 調理室
- 3 出席委員 中川 秀三、加茂 哲夫、白石 優、三輪 さやか、
木下 直樹、中村 雅俊、袴田 圭一、串 のり子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 山中 昭典(三方原協働センター所長)
- 6 学 校 池沼 光徳(校長)、渡辺 博幸(教頭)、坪井 研(CS担当)、
外山 直世(CSディレクター)

7 傍聴者 なし

8 協議事項

- (1) 議長の選出について
- (2) 三方原中学校運営基本方針について
- (3) 地域学習に係る支援について

9 会議録作成者 CSディレクター 外山 直世

10 会議記録

司会の渡辺から、委員8人全員の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中川会長から議長を袴田委員に推挙する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。

(2) 三方原中学校運営基本方針について

議長の指示により、校長(池沼)から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の質問や発言があった。

袴田: 学校のテーマを踏まえ、with コロナでやっていく。その子らしい学校生活が送れるようにするのがいい。

中村: ここ数年は、とてもいい子達だと思う。ただ勉強が・・・と言うことはあるけれども、荒れたときは大変だったと思うと、今はとてもいいと思います。

校長: マイナスに向いていたエネルギーがいい方向に向いている。

白石: 学習定着度が低いということがあると思うが。三中が他と比べて低い理由は心当たりがありますか？

校長: 勉強より部活・・・のんびりしている。いいところかもしれないのですが。

白石: 子どもなりに部活と勉強両立していると思う。宿題も大変だと言ってもやっている。勉強の仕方が正しくないのか？

中川: この頃の子は、競り合うことに価値があるとは思わないのだと思う。

中村: がつつがつしている子が少ない、競争したくないと思っている。

袴田: 定着度というのは、どういうスケールなのか？学調をやって、点数を見る。わかりやすいとは思いますが、それだけですか？たくさん勉強をやっている人と全くやらない子の差がある。やっている子のやる気スイッチがなんなのか。

白石: 目標を持たせるのは大事、目的をもつのが大事。大学に行ってこのスポーツをやりたい、こ

の大学にしかやっているところがない、ならその大学に行きたいから頑張ろう！というような努力が必要。

袴田: できている子は、北高に行きたいからやる。お母さんに言われてやるか、目標を見つけたのか。登れる山が決まったから登り続けるのか。能力的な差はそんなになんかと思う。本人が能力をどう使うか動機付けが必要。

袴田: 何になりたいのかが難しい。アメリカでは、どういう風になりたいか聞づらい。お金が欲しい→じゃあ、こういう職業というように、きっかけが必要だと思う。勉強をやれやれ言ってもやらない。何のために先生が宿題を出しているのか理解しないといけない。

中村: 部活動は好き、勉強は好きではないと思う子が多いのか。将来、この勉強は必要ないと思うと頭に入らない。自分もそうだったと思う。この問題をやらないと、これに進んでいけないのか教えてほしい。

校長: 将来、高校、大学だったり。自分の個性をどう活かすかがキャリアの狙い。キャリアについて具体的な取り組みの話。キャリア教育の推進について、地域の力をお借りしてできるといいと思う。社会的、職業的な自立に向け、必要な基盤である自己肯定感の育成が大切。夢と希望を持って、自分らしく生きていくには・・・ということを考えさせていきたい。今年度は、ぜひ様々な職場の見学ができればいいと思っています。その中で「地域の良さを見て知る。」「地域に貢献・地域の意味や魅力を知る。」「求められる人材を知る。」「将来の夢、希望を見つける。」ということなどを学んでほしいと思います。

中村: 聞きたい講座に行けるのがよかった。興味のある講座に行けばよく話を聞くとと思う。何を聞きたいか希望を取った上でチョイスした方がよりよく話を聞くとと思う。

加茂: 実際行ってみた方が良い体験になると思う。できる範囲で外に見に行った方がいい。コロナで難しいとは思いますが、リハビリなどの様子を聖隷などに見に行くのがいいと思う。

白石: テーマを決めて、生徒に選んでもらうのが大事。

袴田: 録画しておけばいい。

木下: 動画を作っておけば見られるのでは・・・。

白石: 仕事がなくなっていくこともある、という説明も必要。

袴田: 子ども達へのアンケートをし、なぜ職場体験をするのか分かっているのかを聞くのがいい。

加茂: とにかく職場へ行ってみればよくわかる。見ただけで気持ちも違う。

中川: 現実に見ればいい。「百聞は一見にしかず」その了解を取るのが自治会長の仕事！よろしくお願いします。

袴田: ヤマハとか見に行くのはいい。見るのは刺激になる。今は人がいないから、見せてくれるかもしれない。

校長: 可能なら、中村さんに動いていただけたらと思う。職業の希望を取りながら・・・。

次回は5/27なので、そのときに決めていけばいいかな・・・。中村さんに具体的な協力をお願いしたい。

中村: みなさんに協力してもらって進めていきたい。

校長から、次回の会議は令和4年5月27日(金)午後2時から調理室で、開催する旨の報告があった。